

第3回 上田市上下水道審議会 次 第

日 時 平成26年11月4日(火) 午後1時開会

場 所 現地・真田地域自治センター3階301会議室

1 開 会

2 現地視察 つちや水源・菅平浄化センター

3 会 議

(1) 会長あいさつ

(2) 議 事

ア 平成25年度決算の概要について

(ア) 水道事業会計

(イ) 公共下水道事業会計

(ウ) 農業集落排水事業会計

イ 上下水道料金徴収等業務の民間委託について

ウ 平成26年度重点目標(中間報告)について

エ その他

4 上下水道局長あいさつ

5 閉 会

平成26年11月4日
上下水道審議会
資料1

平成25年度
上下水道事業会計
決算の概要

上下水道局

平成25年度 水道事業 業務量

項 目		平成25年度	平成24年度	比 較		備 考
				増 減	増減比率(%)	
給 水 人 口 (人)		136,775	137,164	△ 389	△ 0.3	
給 水 戸 数 (戸)		56,139	55,784	355	0.6	
年 間 配 水 量 (m ³)	a	17,959,805	18,068,291	△ 108,486	△ 0.6	
年 間 有 収 水 量 (m ³)	b	14,965,999	15,021,301	△ 55,302	△ 0.4	
有 収 率 (%)		83.3	83.1	0.2	—	b/a×100
水 道 料 金 調 定 件 数 (件)		359,576	357,675	1,901	0.5	

主な建設改良事業

・配水管新設及び布設替 (新設8路線1,114.1m、布設替23路線4,648.8m)	327,187千円
・藤原田配水池築造工事	100,464千円
・腰越浄水場 フロキュレータ更新工事	55,125千円
・集中監視機器設置工事 (濁度計、流量計、残塩計等)	47,030千円

平成25年度 公共下水道事業 業務量

項 目	平成25年度	平成24年度	比 較		備 考
			増 減	増減比率(%)	
処理区域内人口 (人) a	127,297	127,402	△ 105	△ 0.1	公共下水道対象人口
利用可能人口 (人) b	126,144	126,360	△ 216	△ 0.2	
利 用 人 口 (人) c	113,109	112,600	509	0.5	水洗化人口
普 及 率 (%)	99.1	99.2	△ 0.1	-	b/a×100
水 洗 化 率 (%)	89.7	89.1	0.6	-	c/b×100
使用料調定件数 (件)	294,057	289,647	4,410	1.5	
年間処理水量 (m³) d	14,782,025	14,526,256	255,769	1.8	
年間有収水量 (m³) e	12,742,963	12,675,944	67,019	0.5	
有 収 率 (%)	86.2	87.3	△ 1.1	-	e/d×100

※参考(戸数ベース)

項 目	平成25年度	平成24年度	比 較		備 考
			増 減	増減比率(%)	
利 用 可 能 戸 数	51,379	51,015	364	0.7	
利 用 戸 数	45,607	44,999	608	1.4	水洗化戸数
未 接 続 戸 数	5,772	6,016	△ 244	△4.1	

主な建設改良事業

・ 下水道管渠新設 管渠延長4,012.0m	258,686千円
------------------------	-----------

平成25年度 農業集落排水事業 業務量

項 目		平成25年度	平成24年度	比 較		備 考
				増 減	増減比率(%)	
処理区域内人口 (人)	a	26,964	26,995	△ 31	△ 0.1	農業集落排水対象人口
利用可能人口 (人)	b	26,964	26,995	△ 31	△ 0.1	
利 用 人 口 (人)	c	24,890	24,749	141	0.6	水洗化人口
普 及 率 (%)		100.0	100.0	0.0	-	$b/a \times 100$
水 洗 化 率 (%)		92.3	91.7	0.6	-	$c/b \times 100$
使用料調定件数 (件)		54,581	54,125	456	0.8	
年間処理水量 (m ³)	d	2,209,566	2,204,095	5,471	0.2	
年間有収水量 (m ³)	e	2,090,787	2,085,687	5,100	0.2	
有 収 率 (%)		94.6	94.6	0.0	-	$e/d \times 100$

※参考(戸数ベース)

項 目	平成25年度	平成24年度	比 較		備 考
			増 減	増減比率(%)	
利 用 可 能 戸 数	10,242	10,083	159	1.6	
利 用 戸 数	9,288	9,090	198	2.2	水洗化戸数
未 接 続 戸 数	954	993	△ 39	△ 3.9	

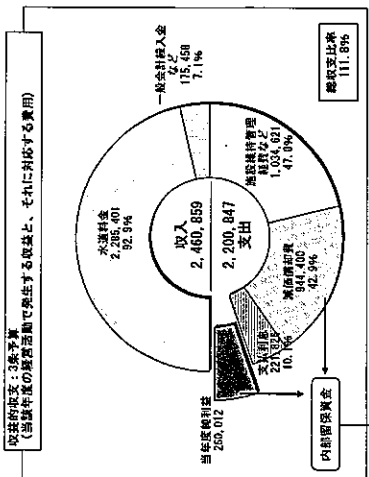
主な建設改良事業

・ 取付管新設工事	28箇所	8,163 千円
-----------	------	----------

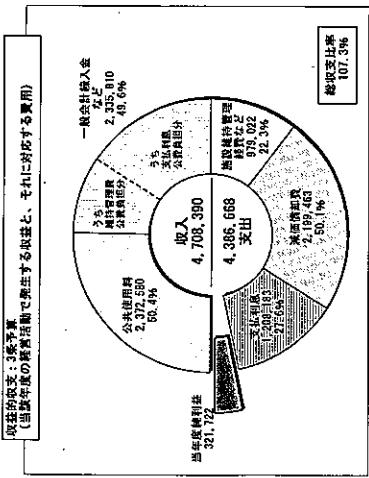
平成25年度上田市上下水道事業会計決算の概要

(単位：千円)
上田市一般会計の概要 (H25決算状況)

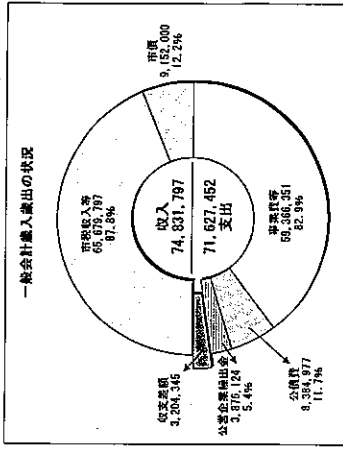
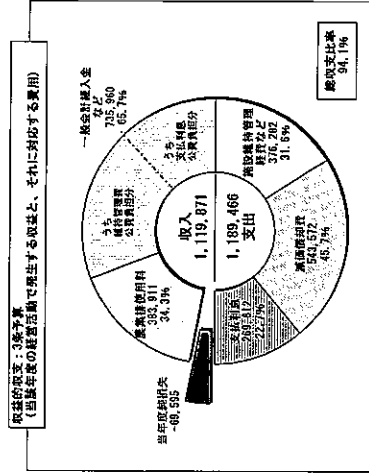
水道事業会計



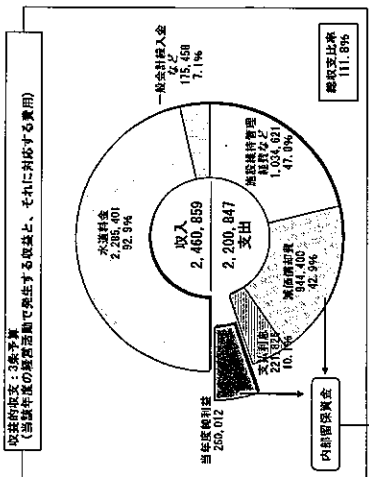
公共下水道事業会計



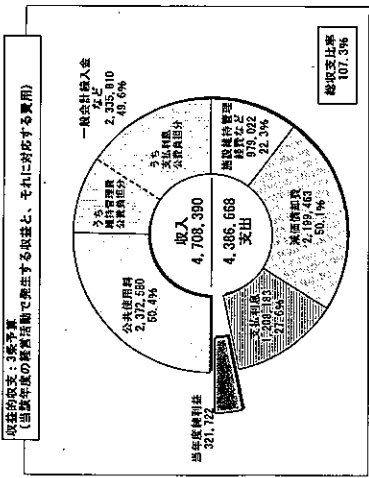
農業集落排水事業会計



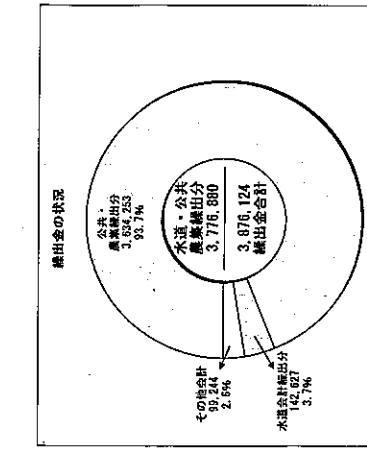
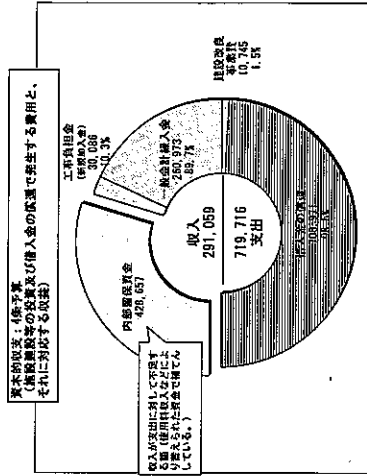
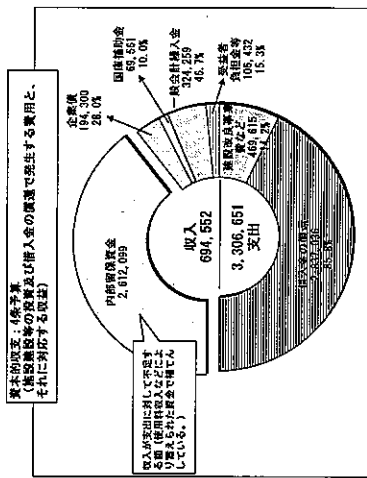
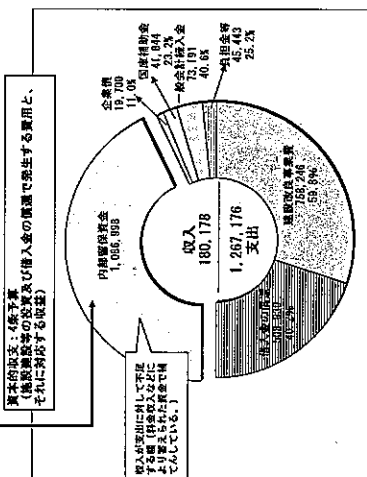
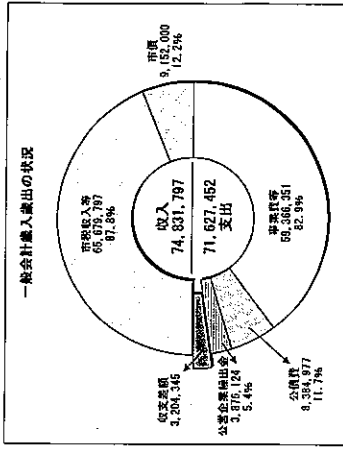
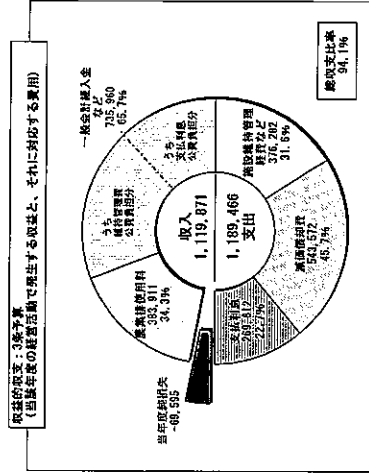
水道事業会計



公共下水道事業会計



農業集落排水事業会計



【決算の状況】

- 1 収益的収入は24億6,085万円余となり、前年比0.5%減となった。うち水道料金収入は、本口利用者の需要量の減少や給水人口の減少等により減収となっている。
- 2 収益的支出は、維持管理費等の増加や減価償却費等の減少により、22億64万円余となり、前年比1.3%増となった。
- 3 この結果、当年度純利益は2億6,001万円余となった。

【決算の状況】

- 1 収益的収入は47億830万円余となり、前年比0.8%減となった。うち下水道使用料収入は、本口利用者の需要減少、景気動向による影響はあるものの、水処理率の向上により0.7%増加した。
- 2 収益的支出は、減価償却費、企業債利息等の減少により、43億8,665万円余となり、前年比4.4%減となった。
- 3 この結果、当年度純利益は3億2,172万円余となった。

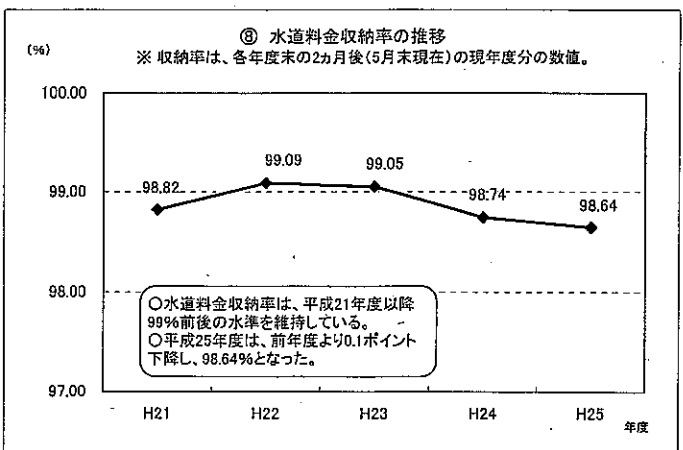
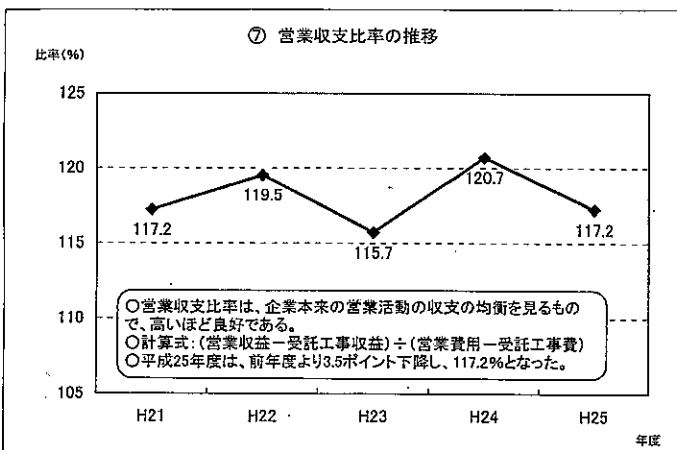
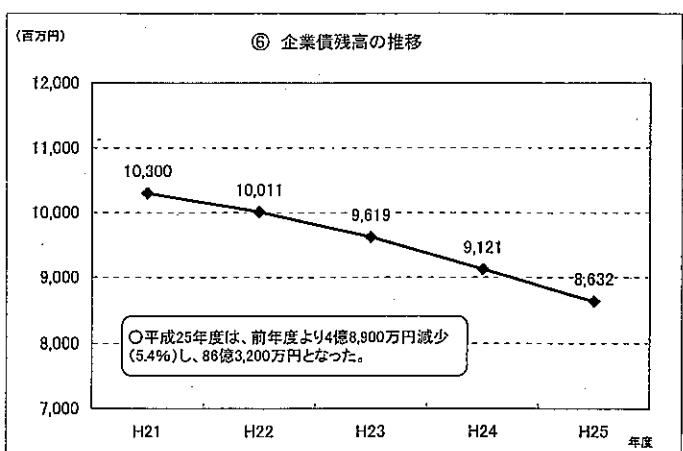
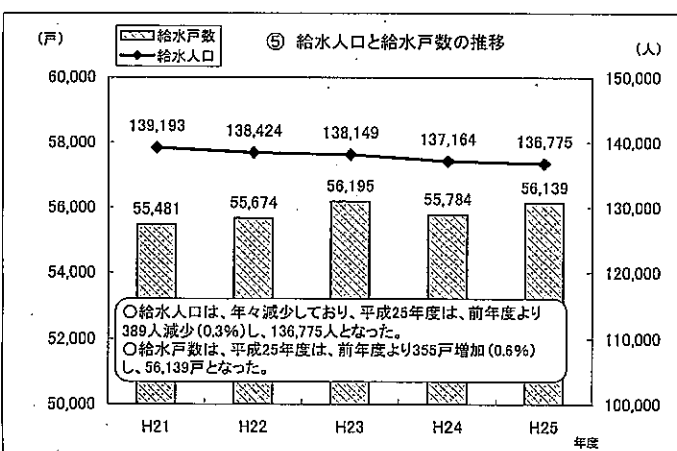
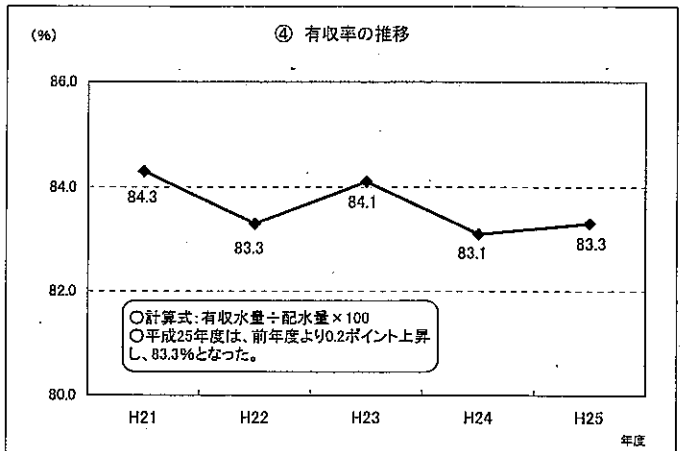
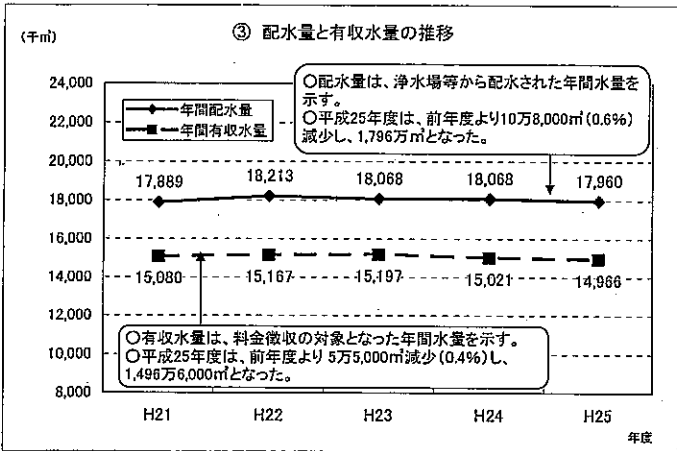
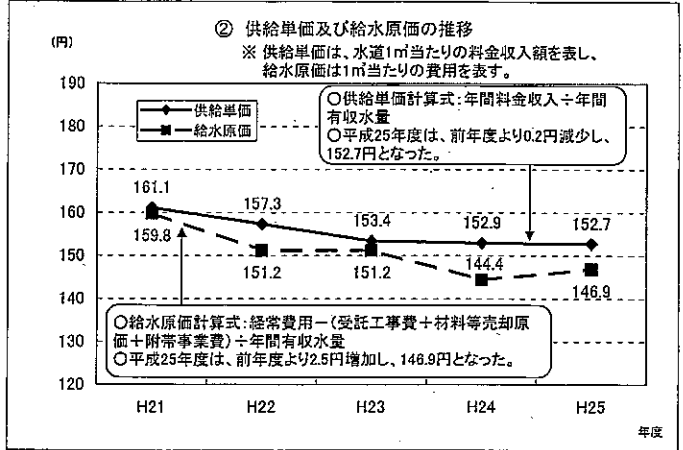
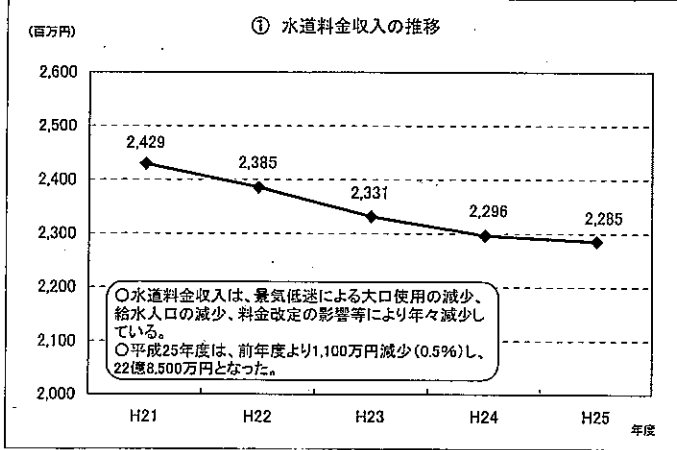
【決算の状況】

- 1 収益的収入は、11億1,987万円余となり、前年比0.9%減となった。うち農業排水使用料収入は、人口減少等、社会的要因があるものの、水処理率の向上等により0.5%増加した。
- 2 収益的支出は、減価償却費等の減少と維持管理費等の支出を抑えたことから、11億8,946万円余となり、前年比4.1%減となった。
- 3 経費の圧縮に振り回らされたものの、当年度純損失は6,959万円余となった。

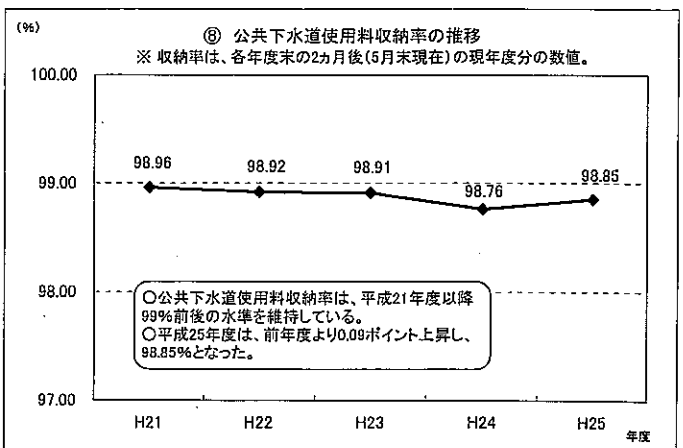
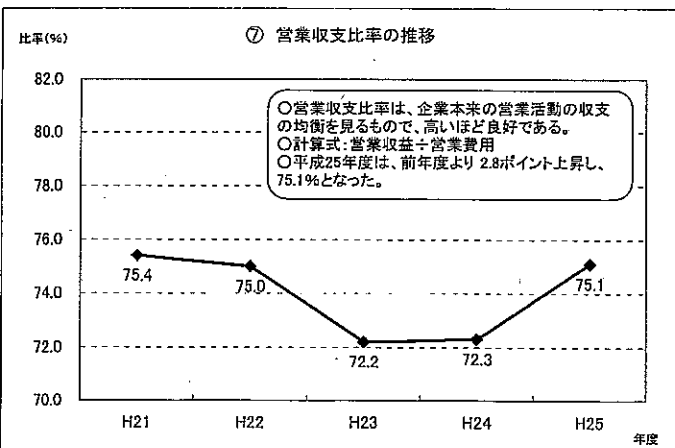
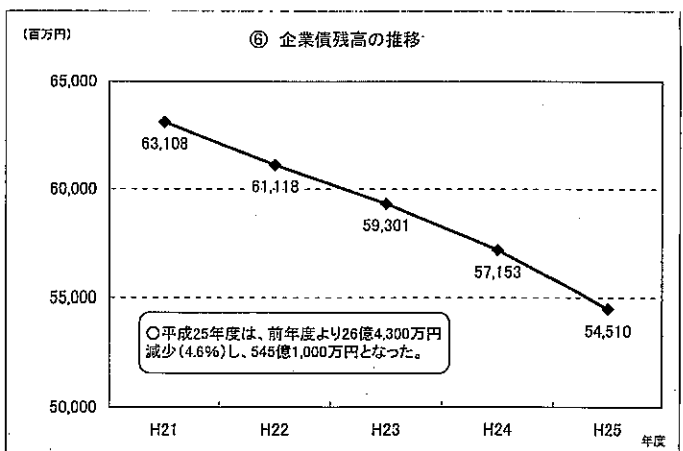
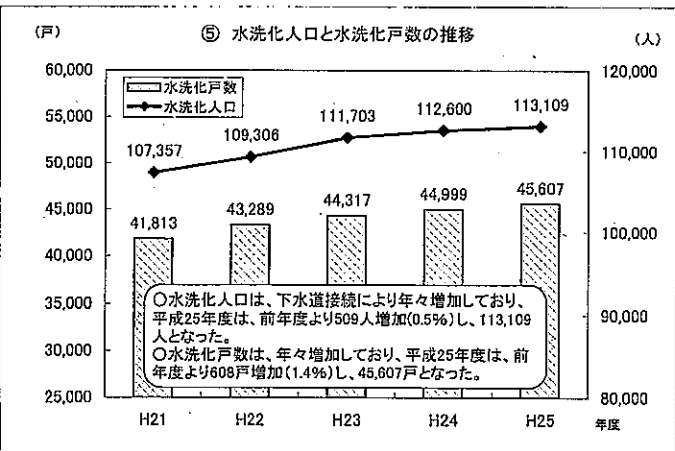
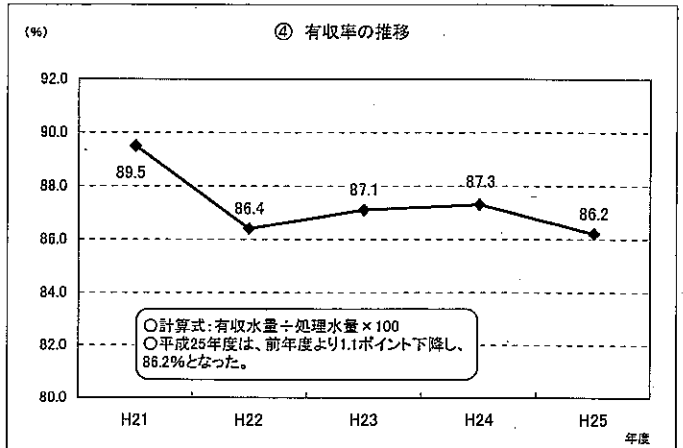
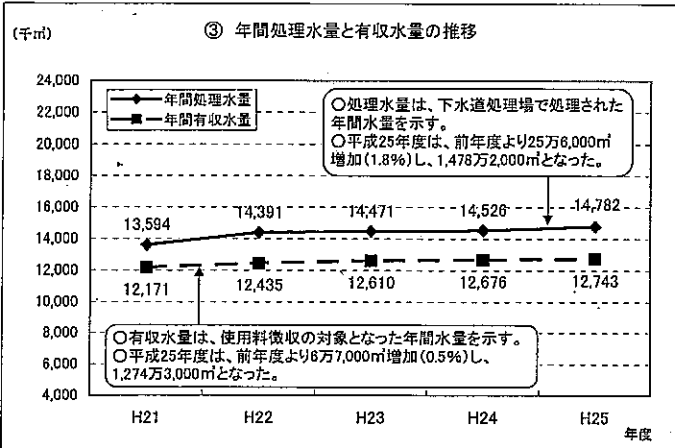
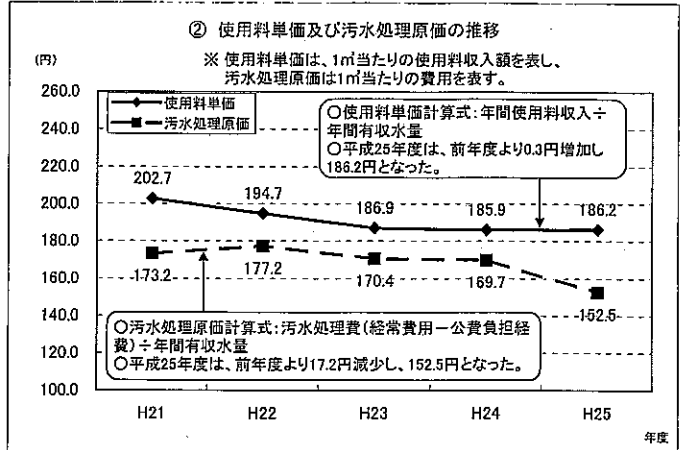
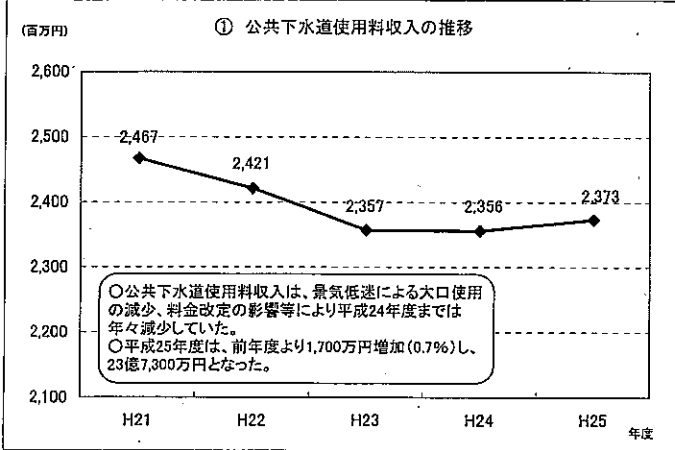
【一般会計における繰出金の状況】

- 一般会計の支出のうち、38億7,612万円余(5.4%)が公営企業への繰出金となっており、その中でも公共・農業会計への繰出金が、38億3,425万円余(93.7%)を占め、前年度に比べ2,755万円余減少した。
- 【参考】繰入金前年度比
- ・水道事業会計 Δ15.5%
 - ・公共・農業会計 Δ0.8%

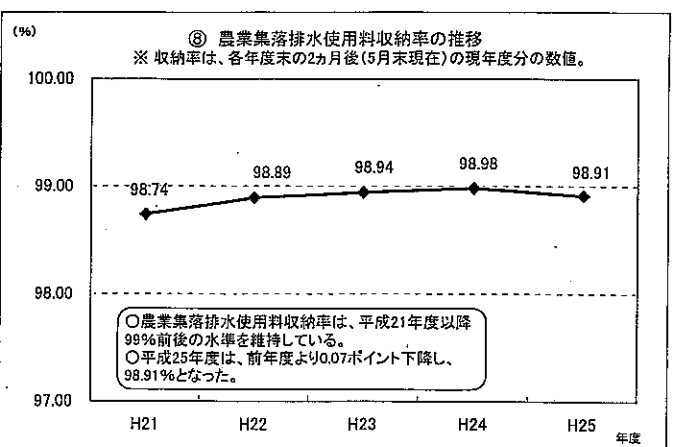
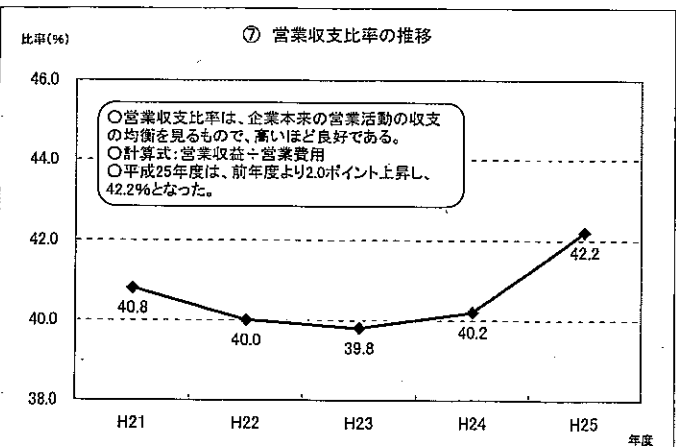
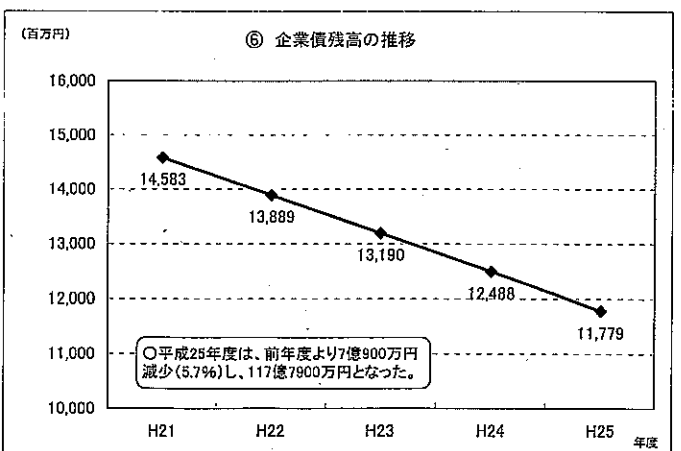
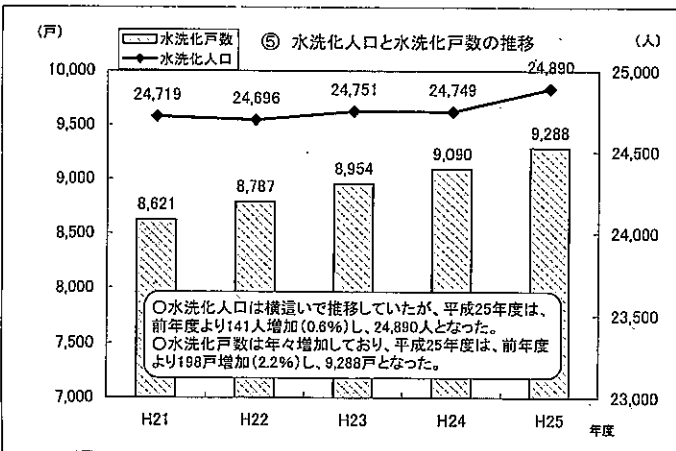
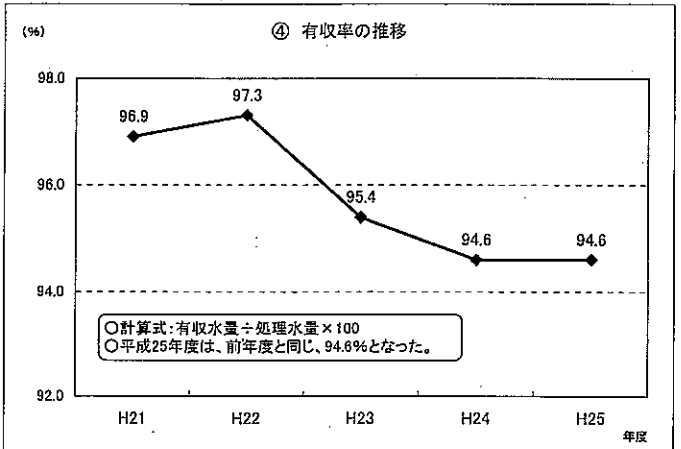
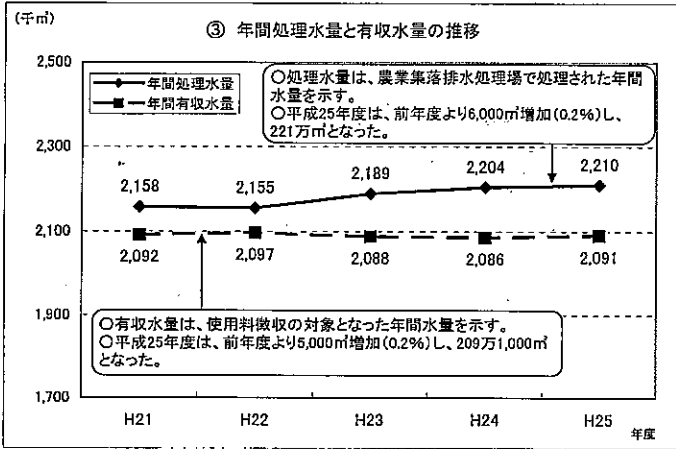
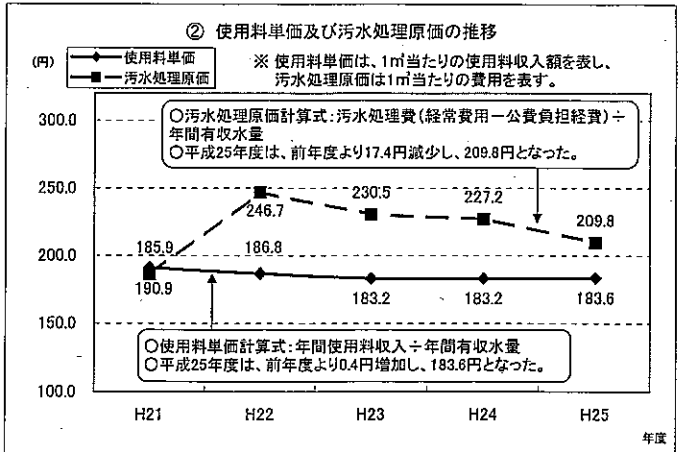
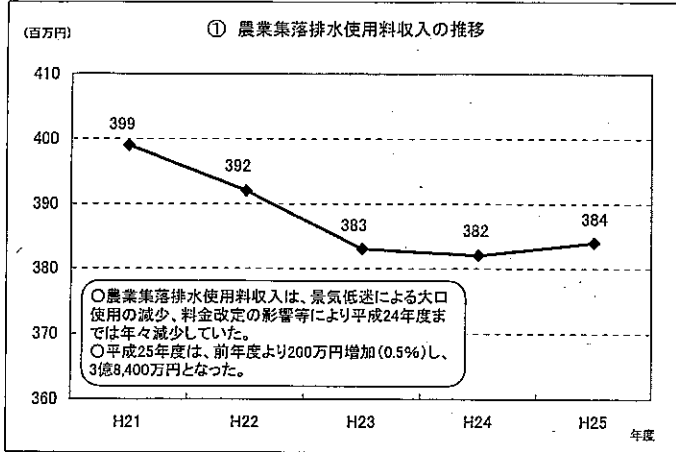
1 水道事業会計 主な経営指標等の推移



2 公共下水道事業会計 主な経営指標等の推移



3 農業集落排水事業会計 主な経営指標等の推移



上下水道料金徴収等業務の民間委託について

1 目的

「上田市民間活力導入指針」(平成 19 年)並びに「第二次上田市行政改革大綱」
(平成 24 年)に基づく、効率的かつ経済的な業務の実施

2 基本方針

- (1) 委託開始時期・・・平成 27 年 10 月 1 日
- (2) 委託期間・・・5 年
- (3) 業務時間・・・午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分(月曜日から金曜日)
(市の臨時窓口開設時等は時間を延長する。)
- (4) 業務場所・・・北庁舎 1 階
- (5) 誤検針の縮減・・・誤検針発生率を 0.05%以下とする。
- (6) 収納率の向上・・・受託後 3 年以内に 99%以上を達成する。

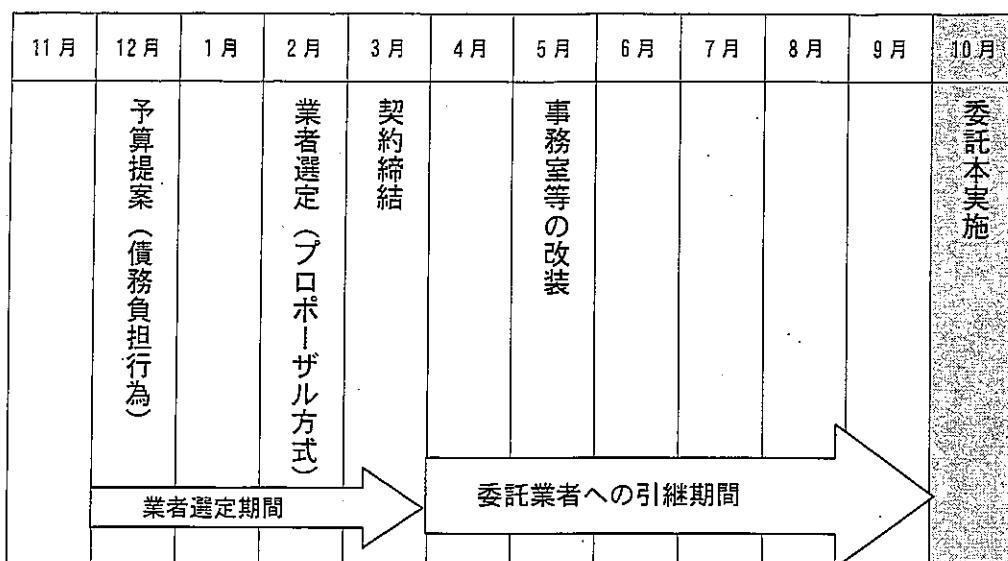
3 委託の内容(別紙 1)

- (1) 業務の流れと委託範囲
- (2) 組織について

4 効果

- (1) 経費の削減・・・職員の削減等(別紙 2)
- (2) 収益の増加・・・収納率の向上
- (3) サービスの向上・・・開栓申請時の来庁不要

5 委託実施までの日程(予定)



6 県内他市の実施状況

長野市 (H16)、松本市 (H21)、飯田市 (H20)、安曇野市 (H22)、東御市 (H22)、
伊那市 (H23)、佐久市下水道 (H23)、駒ヶ根市 (H25) {参考: 県営水道 (H13)}

上下水道料金徴収等民間委託の概要

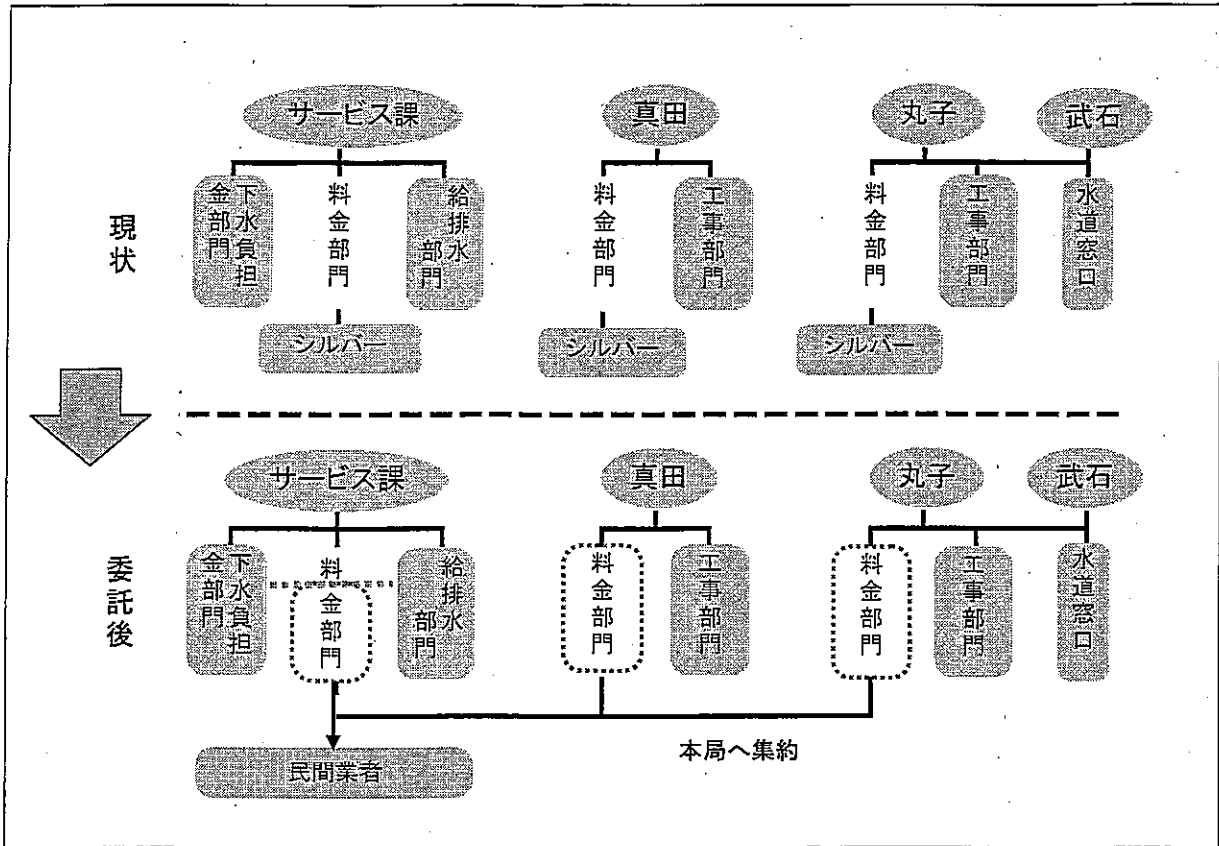
(1)業務の流れと委託範囲

業務の流れ	実施主体	
	現状	委託後
①受付 開栓申込み → 上下水道局	職員	委託
②開栓(閉栓) → 使用開始	職員	委託
③検針	委託 (シルバー)	委託
④集計・料金計算	職員	委託
⑤調定 料金データ ← 調定 決裁	職員	職員
⑥納付書作成・発送 口座振替 直接納付	職員	委託
⑦収納業務 引き落とし完了 納付完了	職員	委託
⑧滞納整理 督促・催告 給水停止予告 給水停止 ← 完納 ← 決裁	職員	委託
⑨不納欠損 未納時効分 不納欠損 ← 決裁	職員	委託

<委託後の職員の業務>

○委託業者の管理監督、調定・給水停止・不納欠損等の決裁、コンビニ等の契約事務、会計システムへの入力、滞納処分など

(2)組織について



<現状>

- サービス課と各センターでは、検針、開閉栓、滞納整理などをそれぞれが独自に行っている。
- 武石地域については、丸子上下水道課が料金と工事部門を兼務しており、窓口には職員を置き対応している。

<委託後>

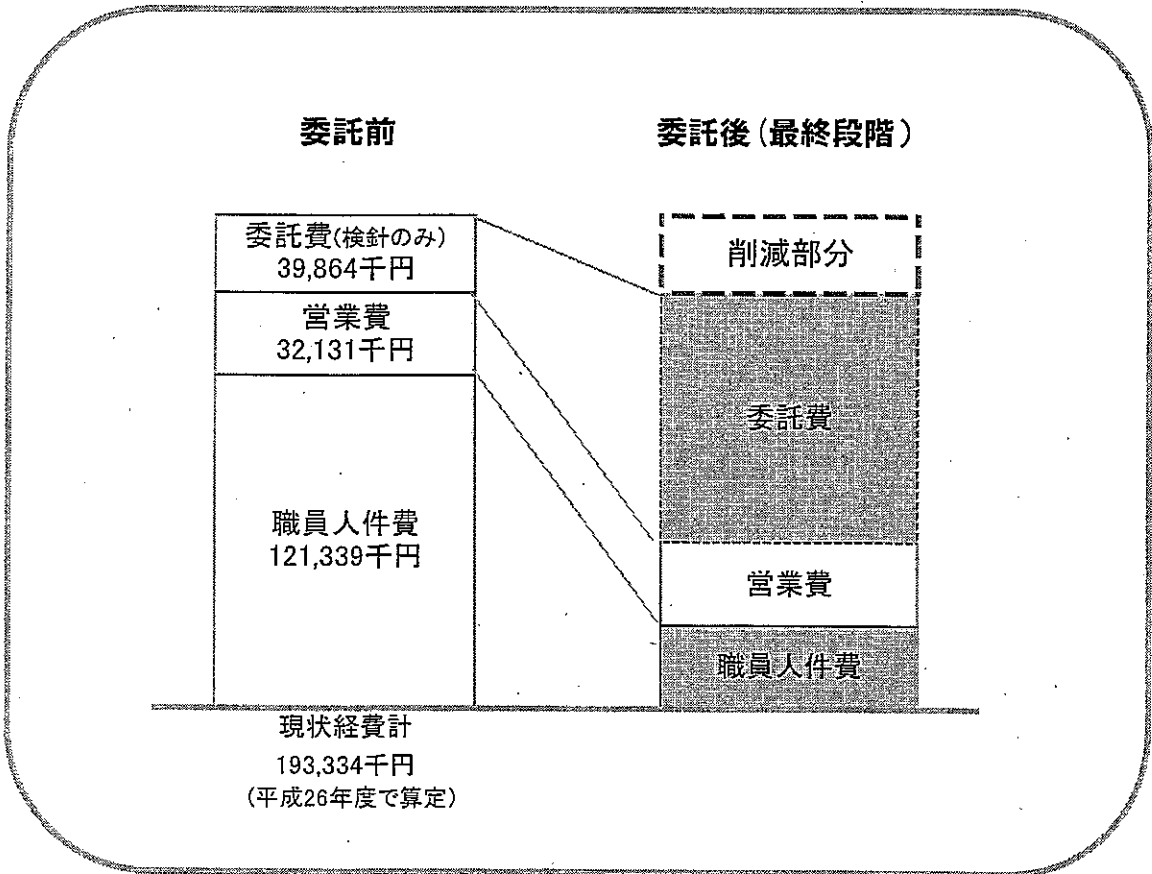
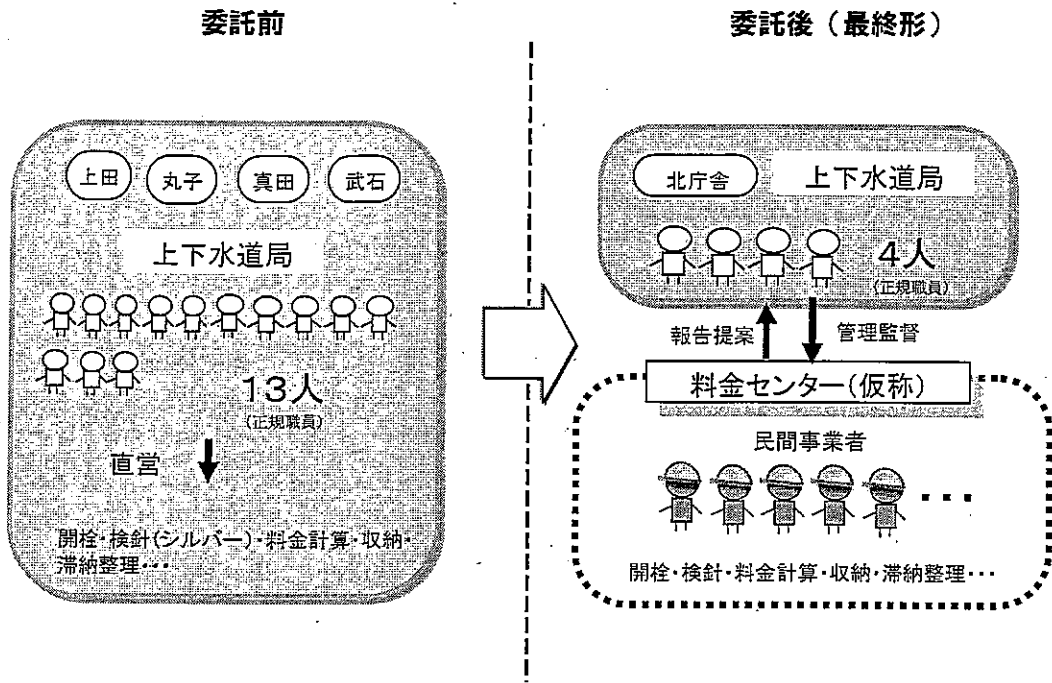
- サービス課と各センターが行っていた、検針、開閉栓、滞納整理などの業務は受託業者が行う。
- 各センターでは、料金等の収納のみを行い、丸子と真田は工事部門が兼務する。武石は現行の窓口で対応する。

☆ 県営水道地区の下水道使用料の強制徴収について

県営水道地区（塩田地域等）については、県企業局から提供される検針データに基づき下水道使用料を算定し徴収している。

委託後の県水地区の滞納整理は受託業者が行うが、未納者に対する差押等の滞納処分については委託前と同様に職員が行う（地方自治法 231 条の 3 第 3 項）。

経費削減効果のイメージ



重点目標一覧表（中間報告調書）

平成26年11月4日
上下水道審議会
資料 3

【平成26年度重点目標】

重点目標	経営効率化の推進	具体的な重点取組項目（簡条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度	各部局の自己評価
1	<p>①経営方針に基づく事業計画の推進</p> <p>②民間委託化の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上下水道料金徴収、窓口業務の包括的民間委託化の推進 ・浄水場施設維持管理業務の民間委託化の検討 <p>③収納率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現年度分水道料金、下水道使用料 ・現年度分下水道負担金、分担金 <p>④公共上下水道事業会計と農業集落排水事業会計の統合検討</p> <p>⑤県企業局主催の水道事業運営研究会（仮称）での方向性検討</p>	<p>①10年間の財源計画と事業計画のロ-リ-が実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間委託化に向けた行程表作成 ・委託部門の計画策定及び委託化に向けた行程表作成 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・99% ・96% <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度統合に向けての検討 ・研究会での方向性検討 	<p>①各課で事業計画を策定中。それをもとに平成27年度予算編成を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行程表は作成済。行程表に沿い、予算計上の準備を進めている。 ・業者ヒアリング、近隣市への視察実施、委託化への概算費用算出中 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・98.11% (9月末) ・61.20% (9月末) <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計基準の見直しに伴い、統合の必要性も含めて検討中 ・研究会に参加 (2回) 	<p>進捗状況・進捗度</p>	○
2	<p>①真田地区の簡易水道を下水道へ統合</p> <p>②水源改修、改良</p> <p>③水源水質検査の強化体制継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湧水水源の水質検査 ・セシウム134及び137の検査 ・水質等自動検査設備設置 <p>④管路網解析による給水区域の見直しとバックアップ体制整備</p> <p>⑤収率率の向上及び給給水管の布設等</p>	<p>期限・数値目標等</p> <p>①関底機関との合意形成</p> <p>②上木入第2配水池加圧ポンプ設置</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリプトスポリジウム11箇所・34検体 ・浄水場原水-12回、浄水-4回/年、湧水 ・水質2回/年 ・下水道-流量計 (2) 設置 ・簡易水道-伝送装置 (2)、水位計・残塩計 ・流量計 (各1) 設置 <p>④管路網解析システムへのデータ入力完了</p> <p>⑤有収率84%</p> <p>給給水管の布設管752箇所</p>	<p>①真田市、財産組合、大日向自治会（水利権）と合意済。他の機関とは協議継続中</p> <p>②上木入第2配水池加圧ポンプ設置に向けた設計業務委託発注済</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリプトスポリジウム 11箇所 19検体検査済 ・浄水場原水-6回 (30検体)・浄水-2回 (10検体)、湧水 水源1回 (19検体) 検査済 ・下水道-流量計 (2箇所) 発注予定 ・簡易水道-伝送装置 (2箇所)、水位計・残塩計、流量計 (各1箇所) 発注予定 <p>④データ入力中</p> <p>⑤有収率83.5% (9月末)</p> <p>給給水管の布設管631箇所発注済</p>	<p>進捗状況・進捗度</p>	○
3	<p>①下水道管路耐震化</p> <p>②下水道施設アセットマネジメント策定</p> <p>③浄水場の施設及び設備更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴軟弱浄水場の設備更新 ・歴越浄水場の設備更新 	<p>期限・数値目標等</p> <p>①L=6.68km</p> <p>②年度末までに策定</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PAC注入設備更新 ・傾斜板・PH計・残塩計・濁度計等更新 	<p>①L=3.2km 発注済</p> <p>②業務施行中</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発注に向け準備中 ・発注に向け準備中 	<p>進捗状況・進捗度</p>	△
4	<p>①下水道未整備箇所の管渠工事推進</p> <p>②農業集落排水の公共下水道への統合事業推進</p> <p>③長寿命化事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4処理場の実施設計 ・管平浄化センサーの設備更新 ④水洗化の促進 	<p>期限・数値目標等</p> <p>①1.6km</p> <p>②財産処分調査の実施 (3地区)</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末までに実施 ・水処理設備及び電気設備更新 ④新規接続戸数500戸 	<p>①工事延長L=1.4kmでL=0.8kmは施工中、L=0.6kmは竣工</p> <p>②公共下水道への接続に当たり、流量やルート検討など具体的な調査を発注済</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4処理場の実施設計業務を発注済 ・水処理設備及び電気設備更新工事発注済 ④新規接続戸数462戸 (9月末) 	<p>進捗状況・進捗度</p>	○
5	<p>①再生可能エネルギーの活用</p> <p>②浄水場堆積物を改良土として有効活用</p>	<p>期限・数値目標等</p> <p>①小水力発電設備導入</p> <p>②改良土化 600m³</p>	<p>①工事発注済</p> <p>②改良土化 107.5m³実施</p>	<p>進捗状況・進捗度</p>	○

※ 評価基準 [◎: 目標を上回る進捗] [○: 目標どおり進捗] [△: 未進捗の部分あり] [×: 全て目標未進捗]

市長指示事項

・民間委託化については、前進するよう留意取り進むこと。・施設の長寿命化については、計画的に進めること。・小水力発電設備については、導入に向け計画的に進めること。